

のぞいてみよう！

となりの協調学習！ (3)



平成27年6月29日

安芸太田町教育委員会（担当：萩原英子）

加計中学校協調学習研究会

6月16日に加計中学校で「協調学習研究会」がありました。東京大学特任助教の齊藤先生をお迎えし、町内外からたくさんの参加をいただき、充実した研修会になりました。参加して下さった皆様、熱心な協議等本当にありがとうございました。授業をされた森末先生、伊藤先生、そして生徒の皆さんの姿から学ぶことがたくさんありました。ありがとうございました。

- ① 授業前に齊藤先生から、「この授業で何を評価したいか」という授業を見る視点について指導していただきました。

「何よりも一人一人の子供が課題に対する自分の考えを前に進めたかどうか」に着目することがポイントです。



- ② 3年数学「平方根」の研究授業

「 $\sqrt{8} + \sqrt{18}$ の計算の仕方を考えよう」

3つの資料にエキスパートで取り組み、それを組み合わせてジグソーの課題を考えると、いうものでした。3つの資料に行きつ戻りつ、時に、前時までのノートの記述を確認しながら、しっかり考えている姿が印象的でした。時間内に正解にたどり着けなかったグループもありましたが、クロストークでひらめいたり、自分なりに納得したりしている様子が見られました。

$\sqrt{8} \Rightarrow 2\sqrt{2}$ でしょ。
 $\sqrt{18} \Rightarrow 3\sqrt{2}$ じゃん。どちらも $\sqrt{2}$ を同じ文字式みたいに考えたらいいんじゃない？



それはわかるけど…。ぼくの持ってきた「正方形の一辺」の資料はどういう関係があるんだ？

計算の方法を理解すれば、その後、簡単に計算はできるようになるけれど、その計算の意味や平方根の意味をしっかり考える場を持つということは、深い理解や思考につながりますね。一方的に授けられただけの知識は長く脳裏に留まらない（浅い学び）けれど、今回の授業のような深い学びは、学んだ知識をつなげて新たな知識を生み出したり、新たな学びを展開したりすることにつながります。 ※裏にも記事が続きます。

③ 研究協議



研究協議では、最初に知識構成型ジグソー法という型の持つ特徴について、齊藤先生からお話を伺いました。

その後、授業者から授業のデザインや生徒の様子について説明がありました。

グループ協議では、授業での生徒の学び方について、意見交流を行いました。

☆参加者の感想から

- ・ 思考する場をどのように仕組むか、課題解決に向け、生徒にどのような学びを期待するのかを生徒の実態から考えていきたいと思いました。齊藤先生の言われた「授業の終わりは学びの終わりではない」の言葉は心に響きました。そんな学びだからこそ主体的になれると思いました。
- ・ エキスパートで学習したことをジグソーで交流するとき、2人の聞き手は黙って素直に聞いていることが多かったと反省しました。伝える側は説得力を、聞く側は吟味しながら聞き、納得できないことは聞き返せるよう、ジグソーの初めを工夫しようと思いました。指導者の役割についてもっと勉強します。

皆さんの振り返りを読ませていただくと、それぞれの立場で自分なりの納得や整理をして、次につなげてくださっているのがよくわかりました。研修を通して、学びを深めてくださっていた証拠ですね。



今後の協調学習の授業予定（町内）

日時	学校名	形態	学年	教科	授業者	単元等
7/3 (金) 13:50~	戸河内中	校内研修 (郡中学校音楽部会)	1年	音楽	今村教諭	フレーズの特徴を生かした表現
7/7 (火) 9:30~10:15	筒賀小	校内研修	5年	算数	佐々木仁美 教諭	合同な図形
7/7 (火) 13:30~	戸河内中	町外からの視察	1年	理科	原田教諭	フラスコ実験の謎
7/10 (金) 13:30~	殿賀小	校内研修 (免田指導主事招聘)	5年	算数	佐々木湊子 教諭	角柱や円柱の体積の求め方

☆授業参観等を希望する場合は、校長先生を通して、実施校にご相談ください。